

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| | | | | |
|----------------|----------------|-------------------------------------|--------------|-----|
| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
| 27-230 | 高等学校 | 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教 科 書 名 | | |
| 2 東書 | コⅡ326 | All Aboard! English Communication Ⅱ | | |

1. 編修の基本方針

基本方針

1 コミュニケーション英語Ⅰからのスムーズな接続

- ・前半のLessonの本文語数がコミュニケーション英語Ⅰの終盤のLessonと同程度の分量なので、コミュニケーション英語Ⅰからスムーズに接続することができます。
- ・コミュニケーション英語Ⅰと同様に、各Lessonで学習する文法事項を1つに絞っています。学習段階に応じて、平易なものから難しいものへと段階的に学習・指導できるように配列しました。
- ・関係副詞や分詞構文など、コミュニケーション英語Ⅰで学習した高等学校での新出文法事項を、コミュニケーション英語Ⅱで繰り返し学習することができるようにしました。

基本方針

2 指導の流れが見えやすいLesson構成

- ・先生と生徒が学習目標を共有するために、Lessonのテーマやコミュニケーション活動にリンクした学習目標を扉ページに提示しています。
- ・Lessonの本文以降のページを、「内容理解」「文法事項」「コミュニケーション活動」の3つに整理することで、先生方の多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

基本方針

3 学習意欲を喚起する題材

- ・「読みたい」「考えたい」と思うような題材を用意しています。
- ・各Lessonの仕上げに「Let's Try!」を配置し、本文のテーマについてのコミュニケーション活動ができるようにしており、4技能の統合を図ることができます。

2. 対照表

| 図書の 構成・内容 | 特に意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|------------------|---|--|
| Lesson / Reading | <p>①各 Lesson で取り上げた題材を通して、異文化の発想や考え方を知り、広い視野を育成します。(第1号)</p> <p>②Reading では生徒の心情に訴えるような題材を取り上げ、豊かな情操と道徳心を培うように配慮しています。(第1号)</p> | <p>①Lesson 1 など</p> <p>②Reading 2 など</p> |

| | | |
|---------------------------------|---|--|
| | <p>③各 Lesson の Exercises B や Let's Try! で、豊かな自己表現を促します。(第1号)</p> <p>④将来の目標に向かって努力をしている高校生を取り上げ、勤労を重んじる態度を養います。(第2号)</p> <p>⑤ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、協力し合う心を育みます。(第2号)</p> <p>⑥児童労働を解決するための1つの解決策である「フェアトレード」を紹介し、主体的に物事を考える態度を養います。(第3号)</p> <p>⑦男性、女性をバランスよく取り上げ、男女どちらも社会に参画している姿を示しています。(第3号)</p> <p>⑧動物の生態の紹介を通じて、命の大切さを考えさせる題材を取り上げています。(第4号)</p> <p>⑨自然を大切にしたり、環境の保全を心がけたりするような題材を取り上げています。(第4号)</p> <p>⑩2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、我が国の伝統や文化について知り、それらを外国に向けて発信する力を養います。(第5号)</p> | <p>③p.14 など</p> <p>④Lesson 7</p> <p>⑤p.13 など</p> <p>⑥Lesson 9</p> <p>⑦Lesson 2, Lesson 10 など</p> <p>⑧Lesson 3</p> <p>⑨Lesson 3, Lesson 6 など</p> <p>⑩Lesson 5</p> |
| コラム類 | <p>①Communication では、実際の言語の使用場面や働きを踏まえたコミュニケーション活動を行い、実生活に活かすことができます。(第1号)</p> <p>②Getting the Necessary Information では、必要な情報をすばやく見つけることで速読能力を養い、実生活に活かすことができます。(第1号)</p> | <p>①p.24 など</p> <p>②p.70 など</p> |
| 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色 | | |
| 観点 | 留意点 | 具体例 |
| ①教育基本法の遵守 | <p>①この教科書では、国際社会を生き抜く日本人を育成するために、英語力の基礎を確実に身につけ、その英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことを目指しています。</p> <p>②世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、伝統や文化に関する題材を豊富に取り上げています。</p> | <p>①全体</p> <p>②Lesson 5 など</p> |
| ②学習指導要領の遵守 | <p>①Lessonの学習が進むに従って、生徒の積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されていくように、題材や学習内容が選択・配列されています。</p> <p>②生徒が自分の言葉で英語を使うコミュニケーション活動を豊富に用意することで、情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばします。</p> | <p>①全Lesson</p> <p>②全Lesson</p> |

| | | |
|-------------------|--|---|
| ③内容・配列・分量 | <p>①言語材料，題材内容の各面にわたって，既習事項を新たな学習内容に関連させながらゆるやかに難易度を上げているため，無理なく英語力を養成できます。</p> <p>②各Lessonは，写真資料などからの導入，理解，演習，整理，発展の順に編集されており，効率的に学習できるように配慮されています。</p> <p>③取り上げる新出文構造・文法事項は「1レッスン1ターゲット」とポイントが絞られており，基礎・基本的事項が確実におさえられます。</p> | <p>①全Lesson</p> <p>②全Lesson</p> <p>③全Lesson</p> |
| ④評価（CAN-DO） | <p>①各Lessonの第1ページ掲載のLesson Goal（題材のテーマに関連した学習目標）を受け，Let's Try!では言語活動を通してそのLessonにおける目標の到達度を確認することができます。</p> | <p>①全Lesson</p> |
| ⑤英語で授業を行うための配慮 | <p>①本文の内容把握を英問英答で行うQuestionsや本文全体の要約を完成させて音読するReading Outなど，生徒が英語でアウトプットする活動を充実させています。</p> | <p>①全Lesson</p> |
| ⑥コミュニケーション英語Ⅰとの関連 | <p>①関係副詞や分詞構文など，コミュニケーション英語Ⅰで少しだけ扱った文法事項をLessonのTargetとして取り上げ，再度学習する機会を設けています。</p> | <p>①p.88, p.109</p> |
| ⑦伝統・文化の取り上げ方 | <p>①日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ，我が国の伝統・文化への意識を高め，世界に発信できるようにしています。</p> | <p>①Lesson 5</p> |
| ⑧自然科学の取り上げ方 | <p>①英語科にふさわしい意味のある切り口で取り上げられるよう，特殊な語彙や表現による負担に配慮して，題材選定をしています。</p> | <p>①Lesson 3, Lesson 4, Lesson 6</p> |
| ⑨家庭学習・自学自習への配慮 | <p>①Word BoxのA Day in Englishなど，日常生活で使える英語を自学自習できるように，イラスト付きで掲載しています。</p> <p>②Hit the Target!では，Targetで学習した例文を日本語から英語にする練習ができるようにしています</p> | <p>①p.42など</p> <p>②p.126</p> |
| ⑩文字・印刷・製本 | <p>①活字は鮮明で美しく，写真，イラストなども鮮明です。</p> <p>②製本は堅牢で，開きやすい様式です。</p> <p>③図やグラフの色使いなど，色覚特性への配慮を含むユニバーサルデザインになっています。</p> | <p>①全体</p> <p>②全体</p> <p>③全体</p> |

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

| ※受理番号 | 学 校 | 教 科 | 種 目 | 学 年 |
|----------------|----------------|------------------------------------|--------------|-----|
| 27-230 | 高等学校 | 外国語 | コミュニケーション英語Ⅱ | |
| ※発行者の 番号・略称 | ※教科書の 記号・番号 | ※教 科 書 名 | | |
| 2 東書 | コⅡ326 | All Aboard! English CommunicationⅡ | | |

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- コミュニケーション英語Ⅰからスムーズに接続できる。
- 「読みたい」「考えたい」という生徒の学習意欲を喚起する。

1 コミュニケーション英語Ⅰからのスムーズな接続

- ・前半のLessonの本文語数がコミュニケーション英語Ⅰの終盤のLessonと同程度の分量なので、コミュニケーション英語Ⅰからスムーズに接続することができます。
- ・コミュニケーション英語Ⅰと同様に、各Lessonで学習する文法事項を1つに絞っていません。学習段階に応じて、平易なものから難しいものへと段階的に学習・指導できるように配列しました。
- ・関係副詞や分詞構文など、コミュニケーション英語Ⅰで学習した高等学校での新出文法事項を、コミュニケーション英語Ⅱで繰り返し学習することができるようにしました。

2 指導の流れが見えやすいLesson構成

- ・先生と生徒が学習目標を共有するために、Lessonのテーマやコミュニケーション活動にリンクした学習目標を扉ページに提示しています。
- ・Lessonの本文以降のページを、「内容理解」「文法事項」「コミュニケーション活動」の3つに整理することで、先生方の多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

3 学習意欲を喚起する題材

- ・「読みたい」「考えたい」と思うような題材を用意しています。
- ・各Lessonの仕上げに「Let's Try!」を配置し、本文のテーマについてのコミュニケーション活動ができるようにしており、4技能の統合を図ることができます。

題材一覧

| Lesson | タイトル | ジャンル | 言語材料 | 語数 |
|-----------|--|------------|-------------------------|-----|
| Lesson 1 | Fantastic Festivals | 異文化理解 | 比較表現： more, the most | 178 |
| | 授業で共通のテーマを決めて選んだ2つの祭り、イタリアの「ベニスのカーニバル」とフィリピンの「マスカラフェスティバル」について紹介します。 | | | |
| Lesson 2 | Dancing with Freedom | 人物, 芸術 | 関係代名詞： what | 182 |
| | 世界で活躍するダンサーの菅原小春さんが、自分にとってのダンスとはどのようなものなのか語ります。 | | | |
| Lesson 3 | The Spirit of the Forest | 環境, 動物 | 間接疑問文 | 196 |
| | 日本固有の小動物であるヤマネの生態について紹介し、ヤマネの絶滅が何を意味するのか考えます。 | | | |
| Lesson 4 | Living with Robots | 科学技術 | 名詞を後ろから 説明する分詞 | 207 |
| | 私たちの暮らしを便利にしてくれるロボットが、このまま進化を続けた場合の未来について考えます。 | | | |
| Lesson 5 | Special Makeup in Kabuki | 伝統文化 | to 不定詞を含む 表現 | 210 |
| | 日本の伝統文化である歌舞伎の歴史や、隈取の色が表すことについて紹介します。 | | | |
| Lesson 6 | Microcosm in the Sea | 環境 | 動詞の目的語に なる if 節 | 226 |
| | 留学生が、母国の世界遺産「グレートバリアリーフ」が抱える問題と私たちができることについて、プレゼンテーションをして訴えます。 | | | |
| Lesson 7 | Hula, Dance for Tomorrow | 高校生, 職業 | 知覚動詞 | 256 |
| | フラダンスを踊り、身のまわりの人や地域を元気づけている福島県の高校生を紹介します。 | | | |
| Lesson 8 | Magic of the Cotswolds | 異文化理解 | 関係副詞： where, when | 260 |
| | 家族でイギリスの「コッツウォルズ」を旅行した際の感想をメールで伝えます。 | | | |
| Lesson 9 | The Bitter Truth about Chocolate | 異文化理解 | 使役動詞 | 294 |
| | カカオの生産のために学校へ行くことができない子供たちを取り上げ、解決策の1つである「フェアトレード」について考えます。 | | | |
| Lesson 10 | Designing for Peace | 人物, 平和 | 分詞構文 | 325 |
| | デザインで世界を変えることを目指すマスード・ハッサニさんと、彼が作成している地雷除去装置「マイン・カフォン」を紹介します。 | | | |

2. 対照表

| 図書の構成・内容 | 学習指導要領の内容 | | | | | | 箇所 | 配 当 時 数 |
|-------------------------------------|-----------|---------|---------|---------------|------------|-----|----------|------------------|
| | 第2款 | | 第3款 1 | | 第3款 2 ウ | 第4款 | | |
| | (1) | (2) | 使用場面 | 働き | | | | |
| National Holidays and Events | | | b | c | | | p.8 | 1 |
| Lesson 1 | ア・イ・ウ・エ | ア・イ・ウ・エ | a, b, c | a, b, c, d, e | | | pp.9-14 | 4 |
| Lesson 2 | ア・イ・ウ・エ | ア・イ・ウ・エ | b | a, b, c, d, e | (イ) | | pp.15-21 | 4 |
| Word Box 1 | | | | b | | | pp.22-23 | 1 |
| Communication 1 | ア | ア | a, b | a, b, c, d, e | | | p.24 | 1 |
| Lesson 3 | ア・イ・ウ・エ | ア・イ・ウ・エ | b, c | a, b, c, d, e | | | pp.25-31 | 5 |
| 文法のまとめ1 | | | | | (イ) | | pp.32-33 | 1 |
| Let's Listen 1 | ア | ア | a, b | a, b, c, d, e | | | p.34 | 1 |
| Lesson 4 | ア・イ・ウ・エ | ア・イ・ウ・エ | a, b, c | a, b, c, d, e | | | pp.35-41 | 5 |
| Word Box 2 | | | a, b | b, c | | | pp.42-43 | 1 |
| Extra Target 1 | | | | | (カ) | | p.44 | 1 |
| Lesson 5 | ア・イ・ウ・エ | ア・イ・ウ・エ | b, c | a, b, c, d, e | (ア) | | pp.45-51 | 5 |
| Word Box 3 | | | a, b | | | | pp.52-53 | 1 |
| Reading 1 | ア・イ | ア・イ・ウ・エ | a, b | a, b, c, d, e | | | pp.54-59 | 6 |
| 文法のまとめ2 | | | | | (ア), (カ) | | pp.60-61 | 1 |
| Let's Listen 2 | ア | ア | b | a, c | | | p.62 | 1 |
| Lesson 6 | ア・イ・ウ・エ | ア・イ・ウ・エ | a, b, c | a, b, c, d, e | | | pp.63-69 | 5 |
| Getting the Necessary Information 1 | イ | イ・ウ | a, c | | | | pp.70-71 | 1 |
| プレゼンテーションにチャレンジ | ア・エ | ア・イ・エ | b, c | a, b, c, d, e | | | p.72 | 2 |
| Lesson 7 | ア・イ・ウ・エ | ア・イ・ウ・エ | b | a, b, c, d, e | (ア) | | pp.73-79 | 5 |
| Word Box 4 | | | b | | | | pp.80-81 | 1 |
| Communication 2 | ア | ア・エ | a | a, b, c, d, e | | | p.82 | 1 |

| | | | | | | | | |
|---|-------------|-------------|---------|------------------|------------------|--|----------------|---|
| Lesson 8 | ア・イ・ ウ・エ | ア・イ・ ウ・エ | a, b, c | a, b, c, d, e | (ウ) | | pp.83-89 | 5 |
| 文法のまとめ3 | | | | | (ア), (ウ) | | pp.90-91 | 1 |
| Getting the Necessary Information 2 | イ | イ・エ | a, b | | | | p.92 | 1 |
| Lesson 9 | ア・イ・ ウ・エ | ア・イ・ ウ・エ | b, c | a, b, c, d, e | (ア) | | pp.93- 100 | 6 |
| Let's Listen 3 | ア・ウ | ア | a, b | a, b, c, d, e | | | p.101 | 1 |
| Extra Target 2 | | | | | (キ) | | p.102 | 1 |
| Lesson 10 | ア・イ・ ウ・エ | ア・イ・ ウ | b, c | a, b, c, d, e | (ク) | | pp.103- 111 | 6 |
| 文法のまとめ4 | | | | | (ア), (キ), (ク) | | p.112- 113 | 1 |
| Reading 2 | ア・イ | ア・イ・ ウ | a, b | a, b, c, d, e | | | pp.114- 121 | 8 |
| Word Box 5 | | | a, b | | | | pp.122- 123 | 1 |
| 合計85時間 | | | | | | | | |